

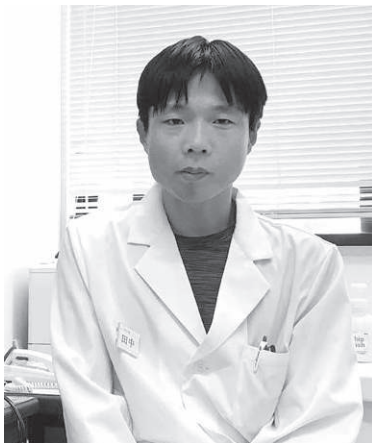
# 新しく赴任された医師を紹介します



碧南市民病院

Hekinan Municipal Hospital

問 市民病院医事経営課 ☎48-5050



たなか けんいち  
田中 健一

4月より市民病院メンタルクリニック勤務。

メンタルクリニックは、入院を必要としないうつ病や神経症、心身症を対象に治療しています。また、心理検査などを行い、現在の患者さんが置かれた状態などを判断します。総合的に治療をケアする必要がある場合、患者さんの家族と協力して、患者さんの精神的ケアを行っています。

## 先生について教えてください

総合医としての素養を持つ精神科医です。病気を治すだけでなく、人生を治します。医学的側面だけでなく、社会的側面にも注目します。

## 患者さんに伝えたいことは？

本質的に精神科は非科学的な学問ですが、私は世の中に精神科が必要だと考えています。統合失調症やうつ病の方で、薬で明らかに人生がよくなっている事実が精神科の存在意義の代表例です。それ以外の存在意義としては、心の問題を扱える機関として、精神科より好ましいところは存在しないと考えるからです。

ほぼ全ての人にとって、心の問題は体の問題よりも重要であることは古今東西変わらない真実です。心が沈んでいることが理由で学校も会社も休めないのは好ましくないため、主観が確実に入る危険性を認識しながら、「心が理由の休み」に客観的な正当性を与える機関は必要です。精神科の限界を把握しながら、心の問題に、できるだけ科学的に対応する機関は社会に必要なだと私は考えます。

## 将来的な目標は？

私も精神科医になって分かったことですが、認知症、介護、障害、家族、学校、会社、アルコール、薬害、貧困、睡眠、食事、暴力など、精神科と関連する分野は多岐にわたります。精神科医だけでは対応できない問題も多いので、当院のMSW（医療ソーシャルワーカー）など福祉職とも協力しながら、地域全体の心の問題を改善していくつもりです。性格は薬で治りませんが、そういった科学的な事実は正直に伝えることで、本人の自助努力を高めていくべきだと考えています。



市民病院

ハナちゃん通信

## 乳がん検診を実施しています

問 市民病院地域連携室 ☎48-5050

現在、乳がんになる人の数は年々増える傾向にあります。月に一度は自己検診、1年に一度はマンモグラフィと超音波検査を受け、乳房のわずかな変化を見逃さないことが大切です。

**時** 2024年3月29日(金)まで（土・日曜日、祝日は除く）

**所** 市民病院

**対** 20歳以上（2004年3月31日以前生まれ）の人

**内** 乳房X線写真撮影（マンモグラフィ）又は超音波検査（エコー）、医師による視触診、自己触診法の説明

※40歳以上の人は、乳房X線写真撮影（マンモグラフィ）、超音波検査（エコー）のどちらかを選択してください。

**¥** 1,400円

以下の人は無料です。

- ・市発行の無料クーポン券を使用する人（乳房X線写真撮影のみ）
- ・生活保護、市民税非課税世帯の人（市役所で証明書を受け取り、検診当日提出）
- ・1954年3月31日以前生まれの人

**申** 平日13時～17時に電話で市民病院地域連携室

### ▼ジャパン・マンモグラフィーズサンデー

10月の第3日曜日はジャパン・マンモグラフィーズサンデーです。市民病院では、ピンクリボン運動に賛同し、乳がん検診の普及に努めます。詳しくは、広報へきなん9月号に掲載予定です。